

みなさん、こんにちは！

今回は、**前期に行われた SSH の活動** について、紹介していきたいと思います！

オオムラサキセンター野外研修会

7月3日に1年6組がオオムラサキセンターに研修に行ってきました。オオムラサキセンターへの研修は毎年行われており、1年生にとって初の学校外でのSSHの研修となります。

オオムラサキは日本の国蝶であり、北杜市長坂町には多く生息しています。しかし、準絶滅危惧種に指定されているなど決してその数は多くありません。

こうしたことから人間による環境の保全が重要となります。そんなオオムラサキについて学んだ感想をいくつか紹介します。

- ・オオムラサキは想像以上に歴史があって貴重な蝶だということを知った。今里山は危機的状況にあるが、土地開発も大切なので、自然と開発の共存が重要だと感じた。
- ・授業で習ってわかったような気でいたけど、実際に見たり、詳しい人の話を聞いたりする中で知ることが多くあり、とてもためになった。



3年生グループ課題研究発表会

7月にSSH3年生グループ課題研究発表会が行われました。

毎年7月に行われるこの課題研究発表会ですが、今年は新型コロナウイルスの影響により、例年のポスター発表ではなく、Web上で開催されました。蕪高でも多くの生徒が発表動画を視聴したのではないのでしょうか。SSH3年生グループ課題研究発表会についてみなさんから寄せられた感想の中から一部を紹介していきます！





1. 東京五輪が経済に与える影響

新型コロナウイルスの影響でオリンピック・パラリンピックが延期になり経済的損失がある事は知っていたが、ここまでとは知らず、日本の経済を知るいい機会となった。研究内容が非常にタイムリーなものであると同時に、自分も少し興味を持っていたこともあり面白かった。

2. 好きな色から見る人の性格

一番私が心を惹かれた研究だった。色から性格を割り出すという考え自体とても面白い。SSHの発表会で心理学の研究を見られるとは思いませんでした。

3. 皇室と王室の差異

新型コロナウイルスという身近な問題から、王室・皇室というテーマに繋げていてよいと思った。発表を通して、王室・皇室の違いについて詳しく知ることができたのでよかった。王室に軍の指揮権があることは日本の体制とは大きく違って興味が沸いた。

ここで紹介した内容は全体のごく一部ですが、実際は多くの研究発表が行われました。興味がある方は来年、ぜひ参加してください。

全校サイエンス講演会

9月16日にはSSH全校サイエンス講演会が行われました。

「明日のために、今、私たちができることー新しい感染症対策を考えるー」という講演はコロナ禍の今、興味深い内容だったのではないのでしょうか。コロナウイルス以外にも、狂犬病やマラリア、デング熱などの感染症について知識をつけることができたと思います。また、それらの感染症への対策も同時に学ぶことができました。講演会の内容を振り返り、今後も感染症対策をしっかりと行って学校生活を送りましょう！

前期では以上のSSHの活動を行ってきました。コロナウイルスの影響により、SSHの活動の中でも夏休みに行われる2年生のSSH研修や3年生グループ課題研究発表会、科学きらきら祭りなど、例年通りに行えない活動が多くありました。しかし、コロナ禍だからこそできた活動もあります。そのうちの 하나가3年生グループ課題研究発表会です。例年は全校生徒がすべてのグループの課題研究発表を見ることはできません。ところが、今年はweb上での開催であったため、全校生徒がすべての発表を見ることができました。

コロナウイルスの影響で「できなかった」活動は多くあります。しかし、様々な工夫により「できた」活動もあります。行動が制限されることもありますが、今後も頑張っ活動していきましょう！

